7都薬会発第46号
令和7年5月10日

薬局 各位

公益社団法人東京都薬剤師会
会長 高橋 正夫

令和7年度「在宅医療での医薬品の品質確保」の実施について

平素より本会会務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、地域包括ケアシステムの中で、在宅医療は薬局・薬剤師に求められている重要な業務の一つとなっています。その中で飲み忘れを防止するために一包化した薬を「お薬カレンダー」を使用し服薬方法の改善を行うことは広く行われています。また高齢者や手の不自由な患者等に一包化調剤をすることも、服薬コンプライアンスの向上につながるものです。

一包化の可否判断は、インタビューフォーム等の安定性評価の報告などが参考にされていますが、これらは1種類のみを一包化した際の評価であり、複数の薬剤を一包化する場合の可否は判断できない可能性があります。一包化可否の判断材料として実態に即した薬剤の評価を行いその情報を蓄積することは有意義と考えます。昨年度は理事者の薬局の検体で予備試験を行い、その結果薬剤の外観は変色等の劣化が認められたが、高速液体クロマトグラフィーで測定可能な成分含量においては、明らかな変化は認められませんでした。今年度はこの取り組みを会員薬局対象に「在宅医療での医薬品の品質確保調査」として実施します。

つきましては、一包化している薬剤において、品質劣化に疑義を生じているものがございましたら、本調査に検体をご提出いただき、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 対象薬局：会員の所属する薬局
2. 対象薬剤：品質劣化に疑義が生じると思われる薬剤を含む一包化剤
(但し向精神薬、毒薬、覚せい剤原料及び麻薬は除く)
3. 募集期間：令和7年5月12日～7月31日
4. 参加方法：検体提出票と一包化した薬剤（中身は全て同一）及びPTP包装の同一薬剤2個ずつを都薬試験所宛送付
5. 調査方法：薬局より一包化調剤に伴い「品質劣化に疑義が生じると思われる薬剤を含む一包化剤」を以下の条件で一定期間保管後、PTP包装と保管後の性状等を比較
保管条件
A：お薬カレンダーに入れて1ヵ月間試験室内で保管（ロガーで温度・湿度、照度計でlx測定）
B：30℃±2℃/65%RH±5%RH/暗所1ヵ月間保管
6. 調査期間：令和7年5月～10月
7. 検査結果の報告：個別の結果を個々の薬局に送付する。

【問い合わせ先】

〒101-0054 千代田区神田錦町1-21 東京都薬剤師会 衛生試験所
Tel: 03-3294-8840 e-mail:kensa@toyaku.or.jp

令和7年度「在宅医療での医薬品の品質確保」 検体提出票

受付日： _____

受付日、受付番号は試験所で記入

薬局名			
所在地	〒		
連絡先	TEL	担当者名	

一包中のすべての薬剤名 (商品名) ¹⁾			
調剤日	年	月	日
保管場所・状況	室内 ・ 保管容器 ・ その他 ()		
劣化が疑われる薬剤名			
劣化が疑われる状態	色 : 褐色 ・ 黄変 ・ その他 () 形状 : 膨張 ・ その他 () 臭い : 酸敗臭 ・ その他 ()		
その他			

1) 例示 : プラバスタチン Na 錠 5mg 「トーワ」 バルサルタン錠 40mg 「FFP」
一包中の含有薬剤の種類・数は同一でお願いいたします